

コマンドの説明

開始・終了コマンド

開始 (メイン)

開始命令から終了命令まで、必ず矢印がつながっている必要があります。

終了

開始 (メイン)
開始 (サブルーチン1)
開始 (サブルーチン2)
開始 (サブルーチン3)

サブルーチンプログラムの中にサブルーチン命令は配置できません。

フルカラー LED コマンド

LED点灯 1 秒

LED の点灯・・・赤 (R)、緑 (G)、青 (B) を 0-255 の数字で指定します。数が大きいほど明るくなります。点灯時間は、最小 0.25 秒から、最大 31.75 秒まで、0.25 秒刻みで指定できます。

フェードイン・・・フェードインは、だんだん明るくなります。

フェードアウト・・・フェードアウトは、だんだん暗くなります。

連続点灯・・・消灯命令または、別の色を点灯させるまで点灯し続けます。

バックライトコマンド

バックライト 1 秒

点灯・・・点灯時間は、LED の点灯と同じく、0.25 秒刻みで最大 31.75 秒まで指定できます。

連続点灯・・・連続点灯は、消灯命令が有るまでバックライトを点灯させ続けます。

消灯・・・バックライトを消灯します。

サウンドコマンド

確認音 1

確認音 (1 ~ 3)・・・プログラム中で音を鳴らすことができます。音は 3 種類あります。

音プログラム再生・・・自作メロディをプログラム中に鳴らすことができます。
(自作メロディ：メロディプログラムで作成し本体に転送したメロディ)

タイマーコマンド

停止 100 秒

停止命令は、最短 1 秒から最大 255 秒までプログラムが停止します。

「秒数 or *」・・・動作停止中に*で指定したセンサに入力があった場合、その時点で動作停止命令をキャンセルして次の命令に進みます。

変数コマンド

変数 x に代入

温度を計測し、変数 x に保存します。この値は、分岐命令で使うことができます。例えば、今計測した温度を x として、10 秒後の温度と比較する、ということができます。

信号待ちコマンド

音センサ待ち

センサに入力があるまで、プログラムが停止します。

「信号入力があるまで停止」・・・別売の接続ケーブルを使って、2 台のオーロラクロックを接続し、「信号出力」命令と合わせて使います。

「アラーム時刻になるまで停止」・・・アラーム時刻を設定して、その時刻になるまでプログラムが停止します。

繰り返しコマンド

繰り返し 3 回

繰り返し開始と終了に挟まれた命令を指定した回数 (最大 255 回) 繰り返します。

繰り返し終了

繰り返し命令の中に繰り返し命令を入れることができます。その場合、最大 5 段までの繰り返し命令を使えます。

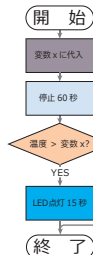
条件分岐コマンド

SW が ON?

指定した条件が成立した時に YES (下)、不成立の時 NO (右) に、プログラムの流れが変わります。

変数を使った条件分岐・・・変数コマンドで事前に計測した温度と比較します。

【プログラム例】



【解説】

温度を計測し 60 秒後の温度が計測時の温度とより高い場合青が点灯、低い場合赤が点灯します。

信号出力コマンド

信号出力

信号出力端子に別売の SK-01 ケーブルを接続して使います。「信号出力」命令は、2 台のオーロラクロックを接続した時に使います。「豆球」や「DC モーター」は、別売の UCK-10 を接続した時に使います。

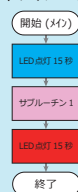
サブルーチンコマンド

サブルーチン 1

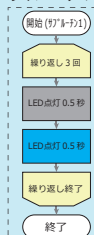
メインルーチンの他にサブルーチン 1 ~ 3 のプログラムが作成できます。サブルーチンを作成することによりプログラムの可視性がよくなります。

【プログラム例】

【メインルーチン】



【サブルーチン 1】



青が 15 秒点灯した後、3 回点滅し、赤が 15 秒点灯します。3 回青が点滅するプログラムをサブルーチン 1 にして、メインプログラムはプログラムが見やすくなります。